



平成27年 9月30日 NO・70
〒311-1114 水戸市塩崎町1016
TEL029-269 -2116 FAX029-269 -3160
Mail tunezumi-j@magokoro.ed.jp

【ホームページで、カラー版が見られます】

市内の国語の先生方と共に、研究授業実施



二十九日(火)市内の国語科の先生方と共に、本校において研究授業を実施しました。授業提案者は、本校の廣瀬洋子先生、授業クラスは二年三組でした。

授業のねらいは生徒たちの表現力アップです。表現力育成のために、「何のために働くか」という論題を設定し、パネルディスカッションをする準備をする国語の授業でした。

授業形式は、いわゆるアクティブ・ラーニングで、教師が講義する形式ではなく、生徒たちが互いに意見を交換し合いながらすすめる、主体性を重視した授業スタイルでした。

この授業のミソは、「一人一人が付箋紙を使い、事前に自分の考えを書いたこと」「その付箋紙を見せ合いながら発表し合ったこと」「付箋紙に書かれた『意見』を仲間分けし、似たもの同士をひとまとまりとして、タイトルをつける作業をしたこと」でした。

これらの作業を通して、生徒たちは無理なく自分たちの意見を互いに交換し合うことができました。生徒たちの楽しそうで、知的な顔つきから、そのことが読み取れました。

このような地道な日々の学習の積み重ねによってこそ、表現力は鍛えられていきます。

本日の「あはつ運動」より

「校長先生、〇〇君は、自分の担当の日だけでなく、挨拶運動が実施される全ての日に参加すると言っています。」と、藤枝先生が教えてくれた。

生徒たちを見ると、確かに他のクラスの〇〇君の姿が混じっている。

「おはようございま〜す」

〇〇君をはじめ、大きな声で挨拶をする3年生たちの姿、自転車に乗りながら笑顔で挨拶を返す生徒。

挨拶は、「人への思いやり」だ。

明るい声、元気な声で、挨拶される方が、どんな人でもうれしい。〇〇君たちの、元気で、笑顔溢れる挨拶の様子に、しばし見とれてしまった。



聴く姿勢を整える

学力が伸びるクラスには、特徴がある。

「人の話を聴く姿勢が、良い」という点だ。

先生が話すときでも、友達が話すときでも、無視しない。必ず、視線が話者の方に向いている。

そして、話をさえぎらない。話者が話し終えるまで、注目が続いている。

このような聞く体制ができているクラスは、「いじめ」が無い。

「一人一人を大切にする」という心が、授業の中で育つからだ。

1年生たちが、しっかりと話者の方を見て話を聞いている態度を見て、今更ながら「常澄中学校は良い学校だ」と感じられた。